

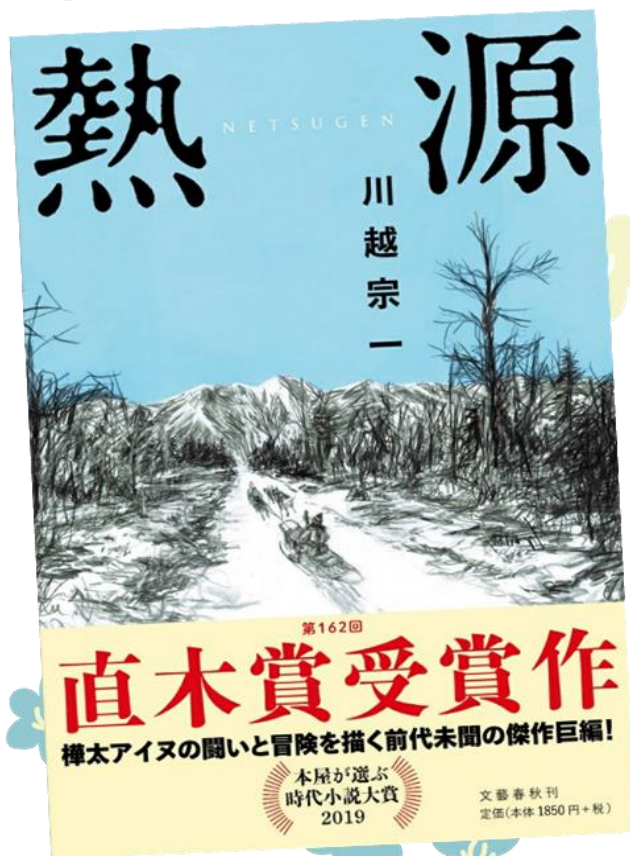


あなたに薦める『この一冊』3月



『熱源』川越宗一[著] 文芸春秋

社会科教諭 大川 慎吾
中学 3年4組 担任



「文明」

あたかも**合理的**なこの言葉を一度は聞いたことがあるはずです。代表的な言葉としては「文明開化」。鎖国下の江戸時代では触れようのなかった**進んだ**文化がどんどん明治の日本へ入ってくる。スポンジのように西洋の文明を吸収した日本はわずか40年足らずで世界の列強と肩を並べる。

「文明とはなんと合理的なものなのだろう。」

私もそう考えていたうちの一人でした。

その考えを覆された一冊が今回紹介する『熱源』という作品。

私の目を奪ったのは帯の一文。

「降りかかる理不尽は**「文明」**を名乗っていた」

これは何を意味するのか。

この作品は大きくふたつの視点から描かれています。一つは日本人にされそうになった樺太アイヌの視点。もう一つはロシア人にされそうになったリトアニア人の視点。それぞれ壮絶な苦難を乗り越えながらそれぞれのアイデンティティを守ろうとする。そんな2人が元は無主の島である樺太で出会う。互いに文明という名の理不尽により、次第に滅びゆこうとする中、守り継ぎたいものは何か。その正体（**熱源**）に迫っていく。

国家とは。民族とは。そんなことを考えさせながら我々の心に「**熱**」を残す、熱い一冊です。

川越宗一（カワゴエ ソウイチ）豆知識

1978年鹿児島県生まれ、大阪府出身。京都市在住。龍谷大学文学部史学科中退。2018年『天地に燦たり』で第25回松本清張賞を受賞しデビュー。短篇「海神の子」（「オール讀物」12月号掲載）が日本文藝家協会の選ぶ『時代小説 ザ・ベスト2019』（集英社文庫）に収録。19年8月刊行の『熱源』で第10回山田風太郎賞候補、第9回本屋が選ぶ時代小説大賞受賞、第162回直木賞受賞。

出典：<https://books.bunshun.jp/sp/netsugen>



“アイヌ”ってどんな人々ですか？ 図書館所蔵関連図書

- ・ もっと知りたい！ くらしや歴史 アイヌ

北原モコットウナシ(他)[監修]



先住民族アイヌを正しく知るため、文化や歴史をやさしく解説。また、本書には、QRコードにスマートフォンやタブレットをかざすことで、音声を聞くことができるページを設けています。日本語とは大きく異なる言葉や独特な楽器の音色、アイヌに古くから伝わる物語アイヌ語の語り(日本語訳付き)を聴くことができる貴重な資料です。

- ・ アイヌと神々の物語 炉端で聞いたウウェペケレ 萱野茂[著]

アイヌ語研究の第一人者である著者が、祖母や村のフチから聞き集めたアイヌと神々の38の物語を読みやすく情感豊かな文章で収録。主人公が受ける苦難や試練、幸福なエンディングなど、ドラマチックな物語を選びすぐった名著、初の文庫化。



★大川 慎吾（オオカワ シンゴ）先生の紹介★

- * 担当科目・クラス
社会a・社会b（中3年2組～4組）
- * 星座 → さそり座
- * 趣味
ランニング、筋トレ、読書、喫茶店巡り、（最近行けてませんが…）ドライブ
- * 自分の中学・高校生活
中学は野球7割勉強3割 高校は勉強10割
- * 本校生の印象 → 個性的かつパワフルです。
- * 感動した本
『育てる力—栗山英樹『論語と算盤』の教え』栗山英樹[著] 宝島社
- * 読むことが望ましい本
『一度読んだら絶対に忘れない地理の教科書』山崎圭一[著] SBクリエイティブ

- ・ ゴールデンカムイ 絵から学ぶアイヌ文化 中川裕[著]



累計2900万部(2024年8月現在)を突破し、2024年1月に実写版映画も公開された「ゴールデンカムイ」。そんな大人気作品のアイヌ語監修者が、物語全体を振り返りつつアイヌ文化の徹底解説を行った1冊。樺太アイヌや北方少数民族ニヴフとウイльта、そしてロシアなど、各分野の監修協力者によるコラムも充実。

- ・ 今こそ知りたいアイヌ 北の縄文、人々の歴史と文化、ウポポイの誕生 末松敏樹(他)[著]

もうひとつの視点で読み解く日本の多様性。ウポポイから始まるアイヌを巡る旅、イラストで詳しく知るアイヌとカムイの世界など。



編集後記：カムイ（神・霊的存在）に対して祈りを捧げるアイヌの儀式「カムイノミ」が、国立民族学博物館（大阪・吹田）で公開されていることをご存じですか？資料の安全な保存と次世代への継承を祈るこの儀式、本年度は2024年11月28日に執り行われたそうです。来年度はぜひ見学に行ってみてくださいね。